

「福岡市の大気環境について」

講師：福岡市環境局 環境共生部 環境保全課 大気環境対策係 野崎 航 氏

日時：2026 年 7 月 28 日（火）19：00～20：20

主催：消費生活アドバイザー研究会

場所： オンライン講座

参加者：10 名（アド研 6 名 会員 3 名、会員外 1 名）

講座報告

4 大公害病は、水俣病、第二水俣病、イタイイタイ病と何？

四日市ぜんそく。1960 年頃から大規模な石油コンビナートの操業が始まり、工場から排出された二酸化硫黄などによる大気汚染で亜硫酸ガスが発生し、風によって高濃度のガスが集中し、それを吸い込んだ住民に気管支炎や気管支ぜんそくなどの呼吸器疾患が起こりました。その後、脱硫装置の導入や硫黄分の少ない燃料への切り替え、排出規制などの対策により二酸化硫黄（SO₂）濃度が低下しました。

PM2.5 は、2013 年 1 月 16 日朝日新聞が「中国で大規模な大気汚染が広がっている」と報じてから知られるようになりましたが、PM2.5 という言葉自体は日本においても存在していました。



https://www.city.fukuoka.lg.jp/kankyo/kseisaku/kids/documents/watashitachinomachinokankyo_9.pdf

PM2.5 の発生源は ①自然から：黄砂や火山灰の粒径の小さいもの ②人間の活動から：排気ガスや物を燃やすときなどに発生 ③空気中の化学物質から：硫黄や窒素、アンモニアなどが太陽の光を受けて反応することで発生します。

福岡市は市内 9 か所で PM2.5 濃度を測定しており、測定を開始した 2011 年から減少傾向にある。冬季から春季にかけて高くなります。福岡市 HP に PM2.5 予測情報を毎日 6 時 30 分、12 時 30 分過ぎに更新し、1 日平均値の予測が 35 μg/m³を超える場合は注意喚起を行い、レベルにより呼吸器系疾患や心疾患、アレルギー疾患がある方に、全員にと行動のめやす等を示しています。

なお、PM2.5 等の越境的な大気汚染について、日中韓三カ国政策対話を実施しています。

黄砂は 2 月から増え、3～5 月にピーク。発生源はゴビ砂漠、タクラマカン砂漠で雪解け後、地面が乾燥し、まだ十分に植物が生えていないため、砂ぼこりが発生しやすく、大陸から日本へ吹く西風などで運ば

れます。気象庁黄砂予測モデルが、黄砂の飛来を予測した場合、福岡市黄砂情報を発表します。黄砂が飛来すると健康や生活に影響することがあるので、福岡市黄砂情報を利用して対応をしてください。

遠くの景色がかすむ見通しが10km以下の場合、呼吸器系疾患や心疾患、アレルギー疾患がある方は、外出するときにマスク等を着用。外出から帰ったら、眼を洗い、うがいをしましょう。洗濯物は外に干さないようにし、換気や窓の開閉は必要最低限にしましょう。

見通しが5km以下の場合、呼吸器系疾患や心疾患、アレルギー疾患がある方は、ジョギングなどの屋外での激しい運動、不要不急の外出はできるだけ控えましょう。呼吸器系疾患や心疾患、アレルギー疾患がない方は、外出するときにマスク等を着用。外出から帰ったら、眼を洗い、うがいをしましょう。

光化学オキシダントは、自動車や工場などから排出される窒素酸化物と、ガソリンや溶剤などに含まれる揮発性有機化合物が、太陽の紫外線によって光化学反応をおこして生成されます。光化学オキシダントの濃度が高くなると、目やのどなどの痛み、息苦しさができることがあります。光化学オキシダント濃度が高くなりやすい条件は、日射が強い、気温が高い、風が弱い。3～9月の昼間が高くなりやすいです。光化学オキシダント注意報が発令されたら、屋外での激しい運動を避け、なるべく屋内で過ごす。不要不急の車の使用は、できるだけ控えてください。

発令中に目がチカチカする、のどがいがらっぽい時は洗眼、うがい等を行し、症状が改善しない場合は、医師の診察を受けてください。

光化学オキシダントが生成されないようにするには、原因となる大気汚染物質を減らさなければなりません。PM2.5、黄砂は減少していますが、光化学オキシダントは横ばいです。私達の暮らしに身近な自動車や冷房設備などが主な排出源となっています。できるだけバス・電車を利用、エコドライブを心がけ、冷房の使い過ぎは避けましょう。そのためには、私達一人ひとりの日頃の心遣いが必要です。

SDGs3 すべての人に健康と福祉を SDGs11 住み続けられるまちづくりを 実現させましょう。